



「VG 槻輪だより」200号 発行おめでとう!!

2004年 11月の創設以来、毎月積み上げられた証が、200号という数字に表れています。

私達サポートセンターが発行します広報誌「NPO ひろば」は、現在133号ですから、ずっと先輩ということになります。

毎月発行するということとは、早くから情報を集め、原稿の準備をしなくてはなりません。それを、繰り返し繰り返し返して約16年。続けてこられたことは、尊敬の念にたえません。

創設時、『足元から見つめて、個から衆にと徐々に広めていけばいい。つまり細く長く持続させなければ価値がない』そう話された言葉の通り、実行されているボランティアグループの皆さまに、心からお祝い申し上げますとともに、さらなるご活躍をお祈り申し上げます。

高槻市市民公益活動 サポートセンター センター長 金崎恵美子

編集部より

センター長 金崎様よりお言葉をメールで頂いて、見落とし記載が遅れ大変失礼いたしました。

VG 槻輪会長が、平成27年度サポートセンター総会議長を務めた時、総合司会を衣川さん、書記を金崎さんで務めた仲です。

金崎恵美子さんは、センター長として、わくをはずれることなく、今あることを誠実に向きあつて、誰にでもわき隔てなく明るく我々を指導して下さいます。

会員だより

私とパソコンの お付き合い

私は83歳まで携帯電話もパソコンも持っていませんでした。

家族との連絡は電話だけでした。あるとき弟と話して携帯電話の話になり、通話以外にも色々使えるということ、持つことを勧められました。

私はちよつと退屈していた時でもあったので早速、購入しました。ちよつとそのころ「VG 槻輪」へ入会していたので、

はじめてVG 槻輪のホームページに「メールに就つて」というのを投稿しました。それからメールを打ちまくっていたら、弟が定年退職したのでその記念にと言つて(なんだかあべこべですが)私にパソコンをプレゼントしてくれたのです。



プレゼントしてくれたノートパソコン

私はご多分に漏れず機械に弱くどうしたものかと戸惑いましたが、弟に手ほどきしてもらつて取りかかりました。幸いなことに、リタイア後、携わっていたボランティアの事務局でワープロを教えてもらつていましたから、



ワープロ パソコン

ワープロとパソコンのキーボードの配列が同じだったのが、私には随分取り付きやすかったです。文章を作ったり、その加

除訂正など共通する部分もあつたし、なにより私もパソコンが出来るという喜びと未知のものへの大きな好奇心が湧いてきて夢中になりました。



パソコンが出来る と楽しく、夢中になる

弟に電話をかけて聞いた、何回も来てもらつて少しづつ覚えて行きました。少しして「VG 槻輪」でパソコン教室があるので参加しないかとお誘いを受けました。「中級」ということで私には無理だと思いましたが、会長さんの強いお勧めもあつて、受けさせていただきました。ところが講義に入

って困ったことに講義の内容がほとんどわからないのです。私はひどい難聴なのでテキストでなにのことを言われているのかはわかるのですが、パソコンの知識が皆無なうえに聞けないのですから理解できるはずがありません。

でも断片的に理解できたことで、文字の色を変えたり、写真を加工したり今もできることはたくさんあります。それから文章を作ることを覚え、写真なども送れるようになって、会報やホームページが私の発表の場となり私の生き甲斐にもなつていきます。作品を作るために、大阪、京都、奈良など随分たくさん歩きました。



※カナダ旅行のパソコンで作った作品です。

今考えるとパソコン教室は「初級」を受けた方がよかつたかと思えます。また私が一番困るのはパソコンは、いつもと同じことをしているのに、違う画面が出たりします。そのときの仕方が判りません。



パソコントラブル 身近の支援者で 即解決

ちよつとしたことでもすぐ立ち往生してしまいます。でもパソコンのできるヘルパーさんに来てもらうと、ほんと一つ押しただけで即解決。恥をかいていません。



※筆者は、ハウスで行われる色々の行事写真を撮り加工します。写真の作品は、ハウスの食堂に展示されます。セキュリティの方法は今も弟頼りで、全くわかりません。

新しくパソコンを覚えようと思つたら、いつでも「ヘルプ」と言える人がいないと駄目だなと私は思っています。私のように新しいことを知らない人でも覚えるよりも慣れるというのは大事なことです。歳はとつても是非挑戦してほしいと思います。

記：牧戸富美子